

情報連絡員報告を中心とした 県内の中小企業動向 &トピックス・3月

【味噌製造】
ほんの少し好転した。
【県下全域】

【その他繊維製造】
年度末なので、3月いっぱい完了の注文が多く、やりくりが大変である。4月以降の仕事が少ないのが不安である。
【県下全域】

【製材】
素材、製材品ともに取引は低調に推移している。特に素材は、並材が完全なコスト割れ状態が続いており出材が少ない。製材は在庫整理が進まず、注文の手持ちのないものをそろえるためスポットの取引が主流。
【県下全域】

【印刷】
世に言う好況は末端には及んでいない。官公庁の年度末需要は期待外れで業者各社が困窮している。県の発注方式について陳情・打合せに管財課を訪問した。厳しい時代になってきた。
【千葉】

【生コン製造】
前年同月比及び累計でも前年を上回り数量的には上向いた。
【東金】

【電気鍍金】
年度末のため幾分受注量は増加してきているが、新年度に入ると例年受注量が減少するので、4～6月の収益が心配される。
【千葉】

【鉄工】
企業間でバラつきが見られるものの総じて順調。
【流山】

【機械金属製造他異業種】
3月は前月及び前年同月比とも決算等の影響で悪化の傾向。大企業の景況感が良いが、中小製造業は未だ厳しい状況下にある。
【探石】
公共事業縮減で改善なし。出荷状況全く変化なし。
【県下全域】

【リサイクル卸】
古紙価格若干上昇。鉄・非鉄金属も好調をキープしている。
【建築材料卸売】
セメント建設関連には景気回復は感じられない。
【県下全域】

【官公需の厳しい落ち込みを民需では支えきれない様相である。耐震偽装問題から建築確認が遅れ、着工ずれ込みが出てきている。底はまだ見えないのが本当のところである。
値上げ攻勢は依然続いている。量は望めないので手取り収益重視の販売が続く。コストダウンと値上げを更に継続し、収益回復を図るしかない。組合取扱数量は今年度想定計画を上回り推移している。来年度も同程度の組合事業は実施する予定である。
【自動車解体】
相変わらず使用済み車の仕入れ価格は高いものの、各社とも入庫台数が前年同月比で増えており、リサイクル法始まって以来の好調な入庫となった模様だ。
国内部品市場も、3月は比較的流通量が多かったようで、業界内には久しぶりにいい雰囲気が出ている。しかし、入庫台数が回復しない事業者もあり、自動車解体業界にも優勝劣敗の格差社会が出現しつつあるのかもしれない。
【小売】
軽衣料を中心に、昨年よりは良い。新入学、新社会人関連の商品は、前年並みで推移した。
【電気機器小売】
薄型テレビが日刊紙で07年度イチ当たり5000円になると大きく報道され、需要に大きなブレーキ。好調が失速した。
【中古車販売】
相場弱含み必至の情勢でディーラー各社を中心とした在庫調整が加速、仕入れセーブに傾き、売り一色の流れが強まる。
軽自動車の突出で期待をかけたに、直販は厳しい局面で続くことになりそうである。
【東金】

【小売】
新入学関連商品は、まずまずの売上を示している。月末に勢いがダウンしてしまった。全体的には今月は良くなってきたと思う。
【野田】

【建設揚重】
需要旺盛、価格も若干動きあり。
【勝浦】

【遊覧船】
1、2月の寒波の余波で花の咲く時期が遅れたのと、3月は予定通りの客が動き、日帰り客も増加し、さらに欠航がなかったこともあり乗船客が増加した。
【野田】

【ソフトウエア】
ゆるやかに好転している。
【建設】
当連合会加入組合員の官公庁(国、県、市町村)からの受注金額は46億7100万円であった。前月比では21億400万円の増加、前年同月比では22億400万円の減少であった。
【貨物運送】
大手企業では増益の報告を多く聞くが、それらは雇用や下請けへのしわ寄せによる大きいと感じられる。未だ軽油値上げやPM法車両入れ替えに対する運賃への反映はなされていない。
さらに、作業の多様化により人件費がともすると増加しそうな兆しもある。
【鴨川】

【小売】
先月よりも悪い。
【銚子】

【小売・サービス】
先月よりも悪い。
【習志野】

【小売・サービス】
先月よりも悪い。
【千葉】

【建設揚重】
需要旺盛、価格も若干動きあり。
【勝浦】

【遊覧船】
1、2月の寒波の余波で花の咲く時期が遅れたのと、3月は予定通りの客が動き、日帰り客も増加し、さらに欠航がなかったこともあり乗船客が増加した。
【野田】

【ソフトウエア】
ゆるやかに好転している。
【建設】
当連合会加入組合員の官公庁(国、県、市町村)からの受注金額は46億7100万円であった。前月比では21億400万円の増加、前年同月比では22億400万円の減少であった。
【貨物運送】
大手企業では増益の報告を多く聞くが、それらは雇用や下請けへのしわ寄せによる大きいと感じられる。未だ軽油値上げやPM法車両入れ替えに対する運賃への反映はなされていない。
さらに、作業の多様化により人件費がともすると増加しそうな兆しもある。
【鴨川】

【遊覧船】
1、2月の寒波の余波で花の咲く時期が遅れたのと、3月は予定通りの客が動き、日帰り客も増加し、さらに欠航がなかったこともあり乗船客が増加した。
【野田】